浜名湖競艇企業団

公営競技について(1)

BOAT RACE 浜名湖

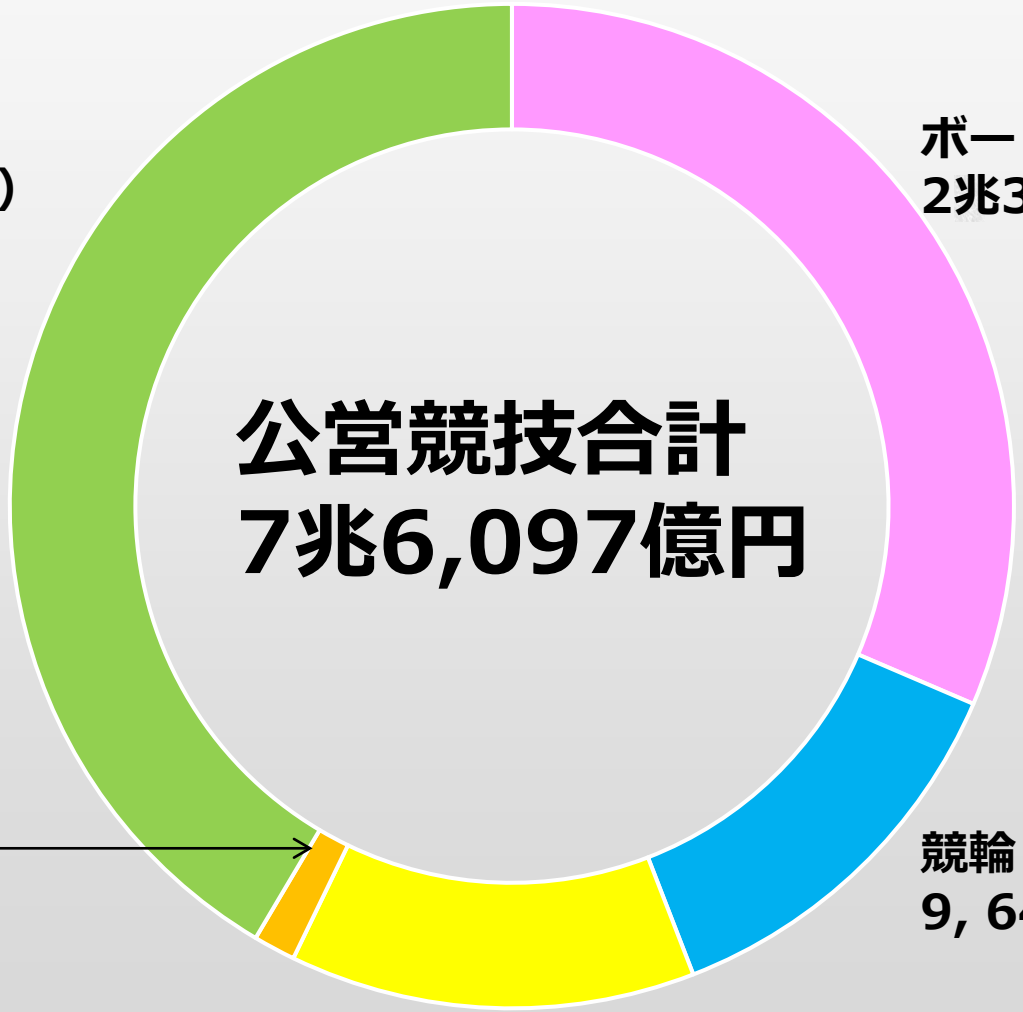
ボートレースを開催しているのは、地方自治体で、職員は**地方公務員**です。

ボートレースには監督官庁があり、国土交通省が担っています。
また、施行者(地方自治体)を指定するのは総務省が担っています。

種類	ルール	出走数	場数
ボートレース	1周600mのコース(水上)をボートで3周し、勝舟を決める	6艇	24場
中央競馬 地方競馬	決められたコース(芝・ダート・障害)を馬に乗って走り、勝馬を決める	10～18頭	中央競馬:10場 地方競馬:17場
競輪	決められたコース(バンク)を自転車で周回し、勝者を決める	7～9車	43場
オートレース	1周500mのコース(バンク)をバイクで周回し、勝車を決める	8車	5場

公営競技について(2)

各公営競技の売上（令和３年度実績）



中央競馬
3兆1,559億（41.5%）

ボートレース
2兆3,926億円（31.4%）

オートレース
1,033億円（1.4%）

競輪
9, 646億円（12.7%）

地方競馬
9,933億円（13.0%）

ボートレース業界について

BOAT RACE 浜名湖

ボートレースの売上金の流れ

日本財団への交付金	社会貢献活動や災害復興支援事業等に役立てられています。	約2.8%
（一財）日本モーターボート競走会への交付金	選手管理、公正かつ安全なレースの実施のために使われています。	約1.3%
地方公共団体金融機構への納付金	上下水道の整備など、地域で役立てられています。	約0.2%
開催経費	管理費、人件費、施設費、選手への賞金などに使われています。	実費
施行者収益	地方自治体の予算に組み入れられ、公共施設の充実化、地方財政の改善に役立てられています。	残高

浜名湖競艇企業団について（1）

名　　称：浜名湖競艇企業団

所 在 地：湖西市新居町中之郷3727−7

設　　立：昭和28年3月

出 資 金：7,471万円

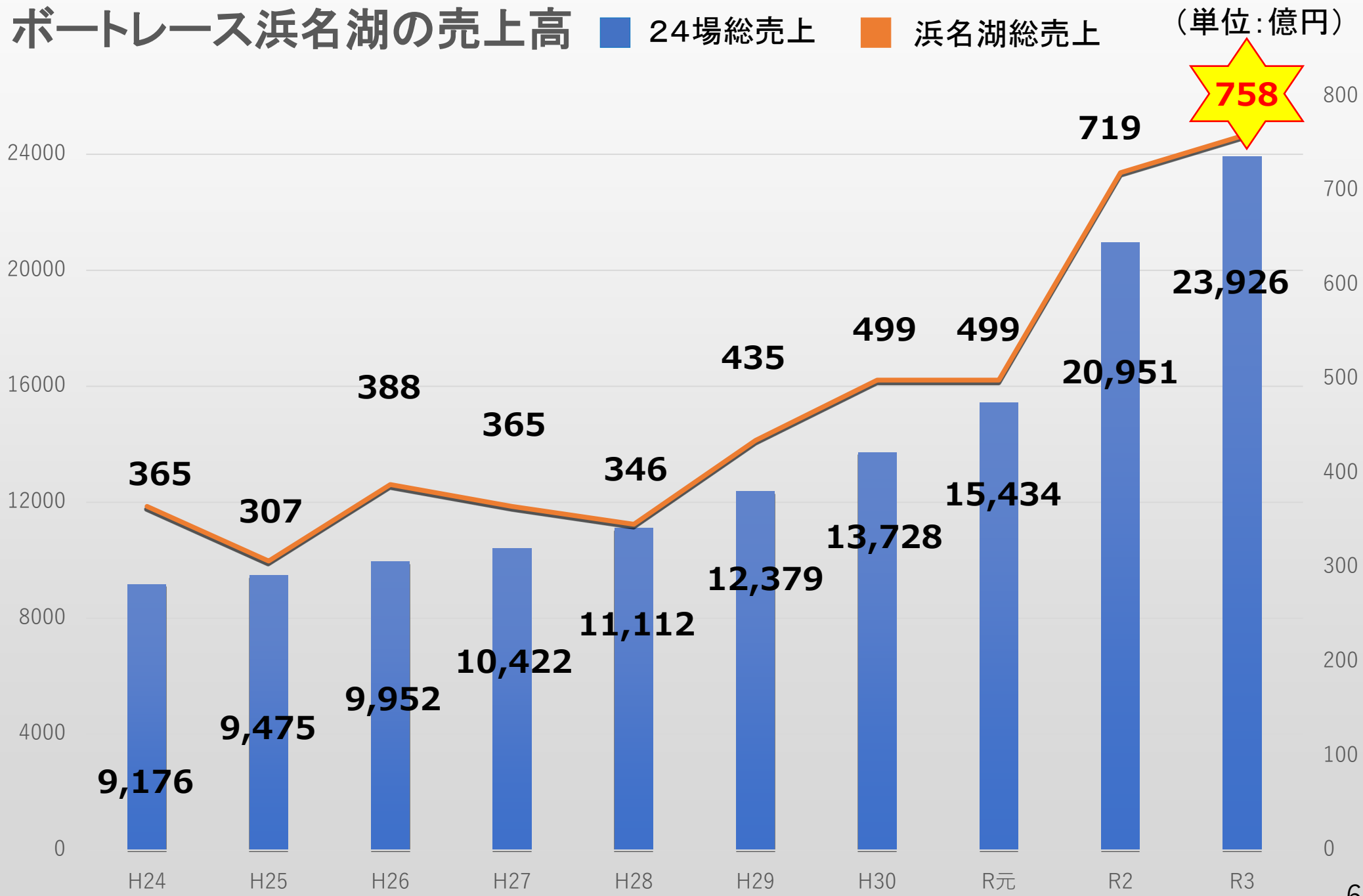
職 員 数：男性42名　女性7名

計49名（令和4年4月現在）

※職員は地方公務員

平均年齢：39.5歳

浜名湖競艇企業団について(2)



浜名湖競艇企業団について（3）

「浜名湖競艇企業団職員」と「市役所職員」との仕事の違い

（浜名湖競艇企業団職員）

- 主に、地方（湖西市及び浜松市）の財政の改善、社会福祉の増進を目的に経営する地方公営企業
- 経費については、舟券または入場料の料金収入によって維持され、独立採算制により経営
- 民間企業に近い面もあり半官半民

（市役所職員）

- 地域住民の日常生活に必要な行政サービスを行う
- 経費については、賦課徴収される租税によって賄われる

浜名湖競艇企業団について（4）

ボートレースの収益は地方自治体の大きな収入源になっています！

浜名湖競艇企業団

収益金の寄与

配分金の累計額

（昭和28年から令和2年まで）

合　計：約1，434億円

（浜松市：約876億円）

（湖西市：約558億円）

浜松市・湖西市

インターンシップについて（1）

BOAT RACE 浜名湖

浜名湖競艇企業団のインターンシップとは？？

特徴

- ✓ ボートレース業界、浜名湖競艇企業団について学べる
- ✓ 2日目・3日目は各課の職務体験を実施
- ✓ 最終日は課題に対して企画立案・プレゼンテーションを実施

課題解決型のプログラム

インターンシップについて（2）

BOAT RACE 浜名湖

インターンシップのここがおすすめ！！

✓ 公営競技『モーターボート競走事業』について学ぶことが可能

⇒モーターボート競走事業について学ぶことが出来るのは**静岡県内で唯一！**

✓ 実践的な企画立案を体験することが可能

⇒企画立案に対し、職員から**丁寧なフィードバック**を行います。

現状の課題を明らかにし、最善策を提示していただけることを期待しています。

インターンシップについて（3）

BOAT RACE 浜名湖

インターンシップのここがおすすめ！！

✓ 先輩職員と直接触れ合い、やりがいを見つけることが可能

⇒若手・中堅・管理職など様々な先輩職員と接し、社会人の考え方に触れることで浜名湖競艇企業団の魅力や働くことの楽しさを発見できる絶好の機会です。

✓ 自分の強みと弱みを知ることができる

⇒インターンシップでは、課題の取り組みを通して参加者同士で意見交換や討論を実施していただきます。自分の意見を発言したり、他者の意見を聞いたりする中で自分の強みや弱みを再確認できる機会となるでしょう。

インターンシップについて（4）

BOAT RACE 浜名湖

このような学生の皆様お待ちしております！！

人物像

★新たな環境・異なった価値観に対しても、それを受け入れ、
様々な人と円滑にコミュニケーションを取ることができる

★課題解決のために周囲を巻き込みながら成果を上げることができる

★目標達成のため最後まで責任をもってやり遂げようとする意識・姿勢

これらを学ぶことのできる場でもあります

インターンシップについて（5）

BOAT RACE 浜名湖

インターンシップを実施する思い

ボートレース
どんな仕事・職員

仕事の難しさ

他者と成果を上げる
達成感

自己分析・企業研究
仕事への適性

発見

体験

学習

インターンシップについて（6）

BOAT RACE 浜名湖

自己成長
【異世代コミュニケーション】
【論理的思考力】

新たな人脈形成
【就活仲間・社会人先輩】

インターンシップに参加することによって

インターンシップについて（7）

BOAT RACE 浜名湖

インターンシップ参加学生の声

～己を振り返り、更に一歩先へ～　■Oさん（大学3年生）

インターンシップ中は班のメンバーで企画・立案し、発表することの難しさを知りました。
自分の意見と相手の意見を合わせる中で、自分の意見を伝えることが出来ないという自分の弱みが分かりそこを改善していく必要があると思いました。

～知識・経験を深め、今後の糧に～　■Iさん（大学3年生）

私が一番成長できた、経験できて良かったと思うことはコース別での企画提案、プレゼンです。私はあまり発言などをしなく、意見などがあっても抑えてしまうことが多かったのですが、今回の実習ではリーダーとなり、やりきったことは1つ成長できた点だと思います。

インターンシップについて（8）

BOAT RACE 浜名湖

インターンシップ参加学生の声

～学生から働く側の目線へと～　■Bさん（大学3年生）

顧客の視点から、運営されている側の視点へと物事の見方を変えることができるようになった。開催やサービスの表面の部分だけでなく、それらの目的や背景にも注目することができるようになりました。

～アットホームな実習環境で～　■Gさん（大学3年生）

年齢に関わらず、職員のみなさんの一体感を肌で感じることができたため、総合的に雰囲気の良い組織だと確信することができました。

是非、浜名湖競艇企業団のインターンシップにご参加ください。

【詳細】

・浜名湖競艇企業団ホームページ

・マイナビ2024